

清流のほとり



令和5年7月3日(月)発行

園長 津田 将美

バイバイ またね

幼稚園HPのQRコードで↑

園バスの前に人だかりができています。その視線の先には、寄幼稚園の園バスが停まっています。午前中の交流が終わり、寄の子どもたちが帰る時に、多くの松田の子どもたちが集まってきてくれたのです。

にこにこと思いきりの笑顔で、一生懸命手を振っている姿はとてかわいらしくほのぼのとしていて、見ている方も幸せな気分になりました。



寄幼稚園との交流が、本格的に始まっています。第1弾は6月2日のアッキー先生の体操教室。今年度も、ゆいスポーツクラブの松下朗大先生(アッキー先生)にご指導をいただきながら、明るい雰囲気の中で、交流も楽しく行うことができました。

「たたいた数だけの人数で集まるよ〜。」
「園長先生、これやってください!」「はいっ!」
(アッキー先生、結構人使いが荒いのです...)
「じゃんけんして、勝った人が回る!!」
「はい、じゃあみんなで丸くなって!!」



テンポの良いご指導のもと、グルーピングやペアでの活動もふんだんに盛り込まれていて、子どもたちは本当に楽しそうでした。

少し緊張気味だった寄の子どもたちも、心身ともに和らいだようで、とてもいい笑顔で活動を共にすることができていました。

5日には、4年ぶりのゆうゆう劇場での交流でした。2回目ということもあり、寄の子どもたちの表情も初回に比べるとだいぶ柔らかな印象を受けました。

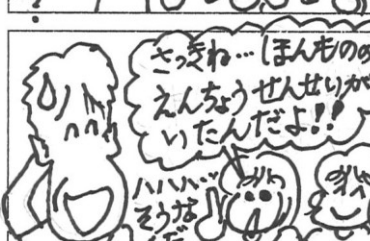
いよいよゆうゆう劇場開演となると、子どもたちはあっという間にその世界に引き込まれ、笑いあり感動ありのすばらしい時間となりました。

このような行事を通して同じ空間で楽しい時間や感動を共有することは、共に過ごしている実感を高め、仲間と協力することのできる資質を育てます。今後は、行事以外での交流も深めながら、共に高めあっていく関係を更に築いていきたいと思えます。

先日、山口前園長先生が松田幼稚園にお越しになりました。教室を回っていただくと、子どもたちは大喜びで手を振ったり話しかけたりしていました。2園の園長として長く勤務された山口先生は、交流の礎を築かれてきました。山口先生にも子どもたちの

「バイバイ、またね。」
の姿をまた見ていただきたいな、と思いました。

園長先生がふたい



早く本物になれるようにガンバリス...